

研究種目「重点研究」における研究対象領域

(1) 乾燥地における自然－社会系のプロセス解明及び影響評価に関する研究

- a. 自然環境及び社会・経済に関わる諸現象のプロセス解明
- b. 環境変動、災害及びそれらの生態系への影響などのモニタリングと将来予測
- c. 乾燥地社会を取り巻く諸問題の原因解明とモニタリング
- d. 自然環境と人間活動との相互影響評価
- e. 環境、社会の持続性、脆弱性及び回復力の計測・評価手法の開発

(2) 技術・対策－水・土壌・生態系の保全

- a. 土地劣化に対処する水・土壌・植生管理技術の開発
- b. 生物多様性の保全・管理技術の開発
- c. 緑化・生態系修復技術の開発
- d. 干ばつ及びダストに対処する技術の開発
- e. 気候変動に対する適応・緩和手法の開発

(3) 技術・対策－生物生産力の維持・向上

- a. 水の利用可能量及び利用効率を高める技術の開発
- b. 適正植物栽培・利用技術の開発
- c. 適正牧畜技術の開発
- d. 持続的食糧生産のための育種
- e. エネルギー技術の開発

(4) 技術・対策－生計と人間の福利

- a. 持続可能な農業・農村開発に関する研究
- b. 途上国における貧困の原因解明及び貧困削減
- c. 乾燥地に特有な疾病・健康問題に関する研究
- d. 教育・能力開発及び社会的弱者のエンパワメントに関する研究
- e. 都市・地域のインフラ・産業・環境等に関する研究

(5) 技術・対策の社会への実装

- a. 伝統的知識と近代的知識の活用と統合化に関する研究
- b. 国際協力の視点から見た乾燥地開発のあり方に関する研究
- c. 持続可能な土地管理（SLM）の普及に関する研究
- d. 技術・対策の社会実装に関する文理融合型学際研究
- e. 技術・対策の社会実装のための様々なステークホルダーとの超学際研究

別紙2 平成28年度乾燥地研究センターの対応教員・研究部門・専門分野、研究内容及び連絡先一覧
 (◎印は、特定研究課題の対応教員を示す。)

研究部門	教員	専門分野	研究内容	ダイヤルイン	メールアドレス ...@alrc.tottori-u.ac.jp
気候・ 水資源部門	准教授 木村 玲二	気象学	大気境界層内における気象現象の観測と物理的解明	0857(21)7031	rkimura
	准教授 安田 裕	水文学	乾燥地の水圏環境の評価	0857(21)7033	hyasd
	准教授 黒崎 泰典 ◎	ダスト気候学	ダスト(黄砂)の時間空間分布。風、土壌・地表面状態とダスト発生(風食)の関係	0857(21)7032	kuro
生物生産部門	教授 恒川 篤史	保全情報学	乾燥地における植物生産及び生態系変化のモニタリングとモデリング	0857(21)7036	tsunekawa
	教授 辻本 壽	分子育種学	遺伝子および染色体工学的手法による乾燥耐性作物系統の育種	0857(21)7213	tsujim
	准教授 安 萍 ◎	植物生理生態学	乾燥地における農業生産の向上および植生の回復	0857(21)7035	an.ping
	助教 Eltayeb Habora Amin Elsadig ◎	生物工学	遺伝子探索と組換えによる乾燥地作物の遺伝的改良	0857(21)7252	amin
	助教 岡本 昌憲	植物分子生物学	分子生物学的手法、遺伝子工学、化学的手法による乾燥耐性植物の創出	0857(21)7283	okamo
緑化保全部門	教授 山中 典和	緑化学	乾燥地における植物の生態学と生態系の修復	0857(21)7039	yamanaka
	教授 藤巻 晴行	土壌保全学	塩類集積と土壌浸食の数値予測と予防・修復技術の開発	0857(21)7040	fujimaki
	准教授 谷口 武士	微生物生態学	乾燥地で生育する植物共生微生物の生態学と生態系修復	0857(21)7038	takeshi
	助教 伊藤 健彦	動物生態学	大型野生動物の生態学及び絶滅危惧種や生物多様性の保全	0857(30)0217	ito
社会経済部門	准教授 小林 伸行	国際開発協力	途上国の乾燥地における農業・農村開発に関する国際協力	0857(21)7235	kobayashi.nobuyuki